

～ 特に注意して欲しい事 ～

・鉛筆書きは、全て問題提供者のもの。

断りが無い場合は、

貼っているのは、山川世界史用語集。

それ以外の引用は、適宜、書籍名をちゃんと提示します。

〔I〕 次の文章を読み、設問1～4に答えなさい。

化石人骨の新発見により、人類の起源はかつて考えられていたよりも遡ることがわかってきた。現在、最古とされる化石人骨はアフリカのチャドで発見された **A** で、約700万年～600万年前のものである。**A** や南・東アフリカの各地に約420万年～200万年前に生息したアウストラロピテクスなどは猿人と呼ばれ、脳容積は小さいものの、直立二足歩行をし、原始的な打製石器を用いた。次の段階として、ホモ=エレクトゥスと呼ばれる原人が現れ、**B** アフリカ大陸の外へと拡散した。この原人段階では火の使用も確認されており、居住環境や食糧資源利用の点で大きな進歩を遂げたと言えるだろう。約60万年前になるとさらに進化した旧人が出現した。特にヨーロッパや中央アジア、西アジアなどで発見された **C** は、近年のヒトゲノム解析の結果、現代の私たちにつながる 新人 との交雑の問題なども指摘されており、人類の進化とその系譜については新たな知見がもたらされている。

設問1 空欄Aにあてはまる語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

アウストラロピテクス

設問2 下線部Bに関連し、19世紀にジャワ島トリニールで化石人骨を発見した人物は誰か。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A デュボワ イ シーボルト ウ ヘッケル エ シュレーゲル

設問3 空欄Cにあてはまる語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

ネアンデルタール人

設問4 下線部Dに該当しないものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

A クロマニヨン人 イ グリマルディ人 **ウ** 周口店上洞人 ~~エ~~ ハイデルベルク人

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

前 8 世紀半ばからギリシア人は、黒海や地中海の沿岸各地に積極的な植民活動を行った。中でも、南イタリアには、タレントウム、シュバリス、クロトン、エレア、ネアポリスなど数多くの植民市が建てられた。これらの植民市が建てられた南イタリアは、ラテン語ではマグナ＝グラエキア（大ギリシア）と呼ばれる。マグナ＝グラエキアは、経済的に繁栄するだけでなく、文化的にもピタゴラス派やエレア派の哲学者たちが活躍するなど独特の様相を呈したが、政治的な紛争が絶えず、最終的にはローマの支配下に入った。最後までローマに抵抗したのはタレントウムであり、この都市を落とすことでローマはイタリア半島の統一を成し遂げた。マグナ＝グラエキアには、同じくギリシア人が多く植民したシチリア島を含める場合もある。シチリア島は、ポエニ戦争の結果、ローマの属州となった。

設問 1 下線部 A の都市は現在のどの都市にあたるか、その都市名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 下線部 B の言語について述べた文として正しいものを下記の文ア～エのうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ☒ ア ヘブライ語と同じく、セム語派に属する。
- ☒ イ ウェルギリウスは、この言葉で『アエネイス』を著した。
- ☒ ウ マルクス＝アウレリウス＝アントニヌスは、この言葉で『自省録』を著した。
- ☐ エ 中世ヨーロッパにおいては、俗人のみがこの言葉を用いた。

設問 3 下線部 C の出来事が起こった年における各地の状況を説明した文として明白に誤っているものを下記の文ア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ☒ ア エジプトは、プトレマイオス朝によって支配されていた。
- ☒ イ シリアは、セレウコス朝によって支配されていた。
- ☒ ウ インドの大部分は、マウリヤ朝によって支配されていた。
- ☒ エ 中国は、漢王朝によって支配されていた。

設問 4 下線部 D の島を 13 世紀に支配したフリードリヒ 2 世の属した神聖ローマ帝国の王朝の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 E の戦争について述べた文として正しいものを下記の文ア～エのうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ☒ ア 第一次ポエニ戦争では、ハンニバルが活躍した。
- ☒ イ ハンニバルは、ザマの戦いでローマ軍に勝利した。
- ☒ ウ 第二次ポエニ戦争では、ローマ市が一時カルタゴ軍に占領された。
- ☒ エ カンネー（カンナエ）の戦いは、南イタリアで行われた。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

マケドニアのアレクサンドロス大王は^Aアケメネス朝ペルシアを滅ぼし、北西インドにまで進出した。その後、インド最初の統一王朝である^B朝が誕生する。最盛期の^C王は仏教に帰依し、その思想に基づくダルマによる統治を目指した。また彼は仏典の結集や布教を推進したが、この頃はまだ^D仏像をつくるという事はなかった。^B朝の衰退後、^E朝、サータヴァーハナ朝が台頭し、4世紀に興った^F朝のもとで^Gインドの古典文化は黄金期を迎える。仏教・ジャイナ教が盛んになるだけではなく、ヒンドゥー教も社会に定着し、現在にいたるインド世界の基盤を準備した。またこの時代には法典や叙事詩が現在伝えられるような形で完成した。

設問1 下線部Aの説明として、正しい記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア シャープール1世のもとで新興のマニ教は急速に発展した。
 イ ダレイオス1世の時代にはエジプトからインダス川流域までを領土とした。
 ウ バフラム2世の時代にはすべての異教が禁止され、ゾロアスター教の国教化が完成した。
 エ ホスロー1世の時代に最盛期を迎え、エフタルを滅ぼした。

設問2 空欄B・E・Fに入る適切な語の組み合わせを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア B: マウリヤ E: クシャーナ F: グプタ
 イ B: クシャーナ E: マウリヤ F: グプタ
 ウ B: グプタ E: クシャーナ F: マウリヤ
 エ B: マウリヤ E: グプタ F: クシャーナ

設問3 空欄Cにあてはまる語を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Dに関して、マトゥラー^{マトゥラー}とならんで石仏がつくられはじめた地域の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Gに関して、誤っている記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 天文学・数学が発達し、ゼロの概念が生み出された。
 イ 『マヌ法典』は人間の始祖が述べたものとされ、各ヴァルナが遵守すべき規範について定めている。
 ウ カーリダーサにより戯曲『シャクンタラー』がつくられた。
 エ 『マハーバータ』『ギーターンジャリ』『ラーマヤナ』などの叙事詩は、東南アジアにも影響を与えた。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

9 世紀にウイグル王国が崩壊すると、トルコ系遊牧民の西方移動が本格化し、中央アジアのトルコ化とトルコ人のイスラーム世界への流入が進んだ。マムルークと呼ばれるトルコ人の軍事奴隷は、9 世紀初め頃からアッバース朝カリフの親衛隊として用いられた。9 世紀後半に西トルキスタンに成立したイラン系のイスラーム王朝であるサーマーン朝は、多くのトルコ人奴隷を獲得して西アジアにもたらすとともに、自らもマムルーク軍団を組織した。マムルークはイスラーム世界の諸王朝のもとで軍人として用いられ、マムルーク出身の軍人が王朝を建設することも起こった。

10 世紀に最初のトルコ系のイスラーム王朝である C がサーマーン朝を滅ぼし、東・西トルキスタンを支配下に置くと、トルコ人のイスラーム化はさらに進展した。イスラーム化したトルコ人の一部は西方に移動し、D セルジューク朝を建てた。

13 世紀後半になると、アナトリア各地にトルコ系の諸勢力が分立した。その中で、アナトリア西北部に興った E オスマン朝は勢力を拡大し、その後ヨーロッパ・アジア・アフリカにまたがる大帝国へと発展した。

設問 1 下線部 A の王朝について、次のア～エの中から正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ☒ ア この王朝下では、アラビア文字を用いたペルシア語が行政や文学の言葉として用いられた。
- ☐ イ 医学者・哲学者のイブン＝ルシュドは、この王朝の都であるバハラ近郊に生まれ、この王朝にも仕えた。
- ☒ エ この王朝はアッバース朝カリフの権威を認めず、自らカリフを称して独立した。
- ☒ ウ この王朝のマムルークがアフガニスタンで自立し、ゴール朝を建てた。

設問 2 下線部 B に関連して、トルコ系軍人が建設した王朝の説明として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ☐ ア トゥールーン朝は、ファーティマ朝のエジプト進出に対抗したが敗北し、滅亡した。
- ☒ エ ガズナ朝のマムルーク出身の武将アイバクは、デリーで独立し、インド最初のイスラーム王朝である奴隷王朝を建てた。
- ☒ ウ ホラズム＝シャー朝は、イラン高原からアフガニスタンまで支配を広げたが、モンゴル軍の侵攻を受けて敗れ、その後滅亡した。
- ☒ エ マムルーク朝は、十字軍からイェルサレムを奪還した。

設問 3 空欄 C にあてはまる王朝名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 下線部 D の王朝の説明として誤っているものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ☒ ア 王朝の創始者トゥグリル＝ベクは、ブワイフ朝を追ってバグダードに大城し、アッバース朝カリフからスルタンの称号を公式に与えられた。
- ☒ エ セルジューク朝は軍隊にイラン系のマムルークを採用し、官僚には主にトルコ人を登用した。
- ☒ ウ セルジューク朝の宰相ニザーム＝アルムルクは、王朝支配下の主要都市にニザーミーヤ学院を設立し、スンナ派の学問の振興に努めた。
- ☐ エ セルジューク朝はビザンツ帝国支配下のアナトリアに進出し、その一派が建てたルーム＝セルジューク朝のもとでアナトリアのトルコ化とイスラーム化が進んだ。

設問 5 下線部 E に関連して、オスマン朝と諸勢力との戦いを起こった順に並べたものとして、正しいものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ☒ ア チャルディランの戦い→モハーチの戦い→アンカラの戦い→レバントの海戦
- ☒ イ ニコポリスの戦い→アンカラの戦い→チャルディランの戦い→プレヴェンザの海戦
- ☒ エ ニコポリスの戦い→アンカラの戦い→モハーチの戦い→チャルディランの戦い

〔V〕 次の史料を読み、設問 1～6 に答えなさい。

アーヘンにて締結されたる^Aイギリス国王、フランス国王、オランダ共和国連邦議会間の最終的平和友好条約。^Bハンガリー女王たる皇后、^Cスペイン国王、サルデーニャ国王、モデナ公、ジェノヴァ共和国がこれに加盟する。

第5条

この戦争が始まって以来、あるいは、去る4月30日に調印された予備条項締結以後に獲得された征服地は、ヨーロッパ、東西インド、あるいは^C世界中いづこにおいてであれすべて例外なく返還すべきであること。

第21条

この条約にかかわる全列強は、1713年4月19日の国事詔書を保証するものであり、亡き皇帝^Dカール6世の全相続権をこの国事詔書で確立された順位に従い、その娘にして現ハンガリー、ペーメン女王たる皇后とその子孫に永久に認めているが、これを可能な限り最良の方法で更新する。

第22条

プロイセン国王が現在保有している^E公領、グラーツ伯領は、この条約にかかわる全列強、関係者、締結者によってこの王に保証される。

(出典：歴史学研究会編『世界史史料』岩波書店、2007年より一部修正・割愛して抜粋)

設問 1 本条約によって終結した戦争の名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア スペイン継承戦争 イ 七年戦争 ウ オーストリア継承戦争 エ オランダ独立戦争

設問 2 下線部 A のイギリス国王とフランス国王の組み合わせとして正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア アン女王 — ルイ13世
イ アン女王 — ルイ14世
ウ ジョージ2世 — ルイ15世
エ ジョージ2世 — ルイ16世

設問 3 下線部 B の人物の名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 下線部 C に関連して、本条約によって終結した戦争のさなかに北アメリカでおこった戦争の名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア フレンチ＝インディアン戦争 イ アン女王戦争 ウ ジョージ王戦争 エ アメリカ独立戦争

設問 5 下線部 D に関連して、下線部 B の一代あとの君主が行った政策として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 男子普通選挙の実施 イ 農奴制の強化 ウ 宗教寛容令の発布 エ 第1回対仏大同盟への参加

設問 6 空欄 E にあてはまる語句を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

1713

〔Ⅵ〕 次の文章①～④を読み、設問1～6に答えなさい。

- ① 1550年代以降、江蘇から広東にかけての沿岸で「倭寇」の活動が激化したが、その実態は、海禁を破って密貿易を行っていた商人たちが、取り締まりに抵抗して海賊化したもので、中国人が多数を占めていたとされる。彼らはしばしば港市や沿岸村落を襲撃して掠奪をはたらいた。
- ② オランダ東インド会社が1784年に C 王国の首都リアウを制圧すると、王族や有力者たちは、マレー半島南方のリンガ諸島や、スマトラ島、ボルネオ島などに根拠地を移し、付近を航行する船舶に対して海賊行為をはたらくようになった。特に、スマトラ島南端のランブンから東インド会社が積み出す胡椒は大きな被害を受けた。
- ③ 1780年代から浙江～福建の沿岸で海賊の活動が活発化したが、彼らの一部はベトナムを根拠地としており、清は十分な対応ができなかった。ベトナムでの新王朝成立後、多くの海賊は広東に根拠地を移し、イギリス東インド会社やマカオの貿易活動にも影響を及ぼしたため、1809年、マカオ当局は清と共同で討伐を行った。
- ④ アヘン戦争後に福建～広東の沿岸で海賊の活動が活発化し、イギリス船も被害を受けたため、1847年にイギリス海軍は大規模な討伐に乗り出した。この時期に海賊が勃興した背景には、それまでこの一帯で沿岸貿易に従事していた商人や船員が、ヨーロッパ船の貿易参入や E の発展によって失業したことがあるとされる。1853年に E の一つである F で起こった小刀会の蜂起も、こうした海賊集団と連携したものであった。

設問1 下線部Aで中国物産と交換された主要な物品を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 18世紀後半の下線部Bに関する説明として適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 台湾に拠点を確保し、そこを中継地として日本・中国との貿易を行った。
- イ ジャワ島でサトウキビ・コーヒーなどの強制栽培制度を導入した。
- ウ 経営の悪化や本国の政変にともなうて、会社は解散した。
- エ セイロン島をあらたな根拠地として獲得した。

設問3 空欄Cにあてはまる語を次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ジョホール イ チャンパー ウ マタラム エ マラッカ

設問4 下線部Dに関する記述として適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 歴代の君主は、清に朝貢することを拒否し、皇帝を称した。
- イ 初代皇帝の阮福暎（嘉隆帝）は、建国に際してフランス人宣教師の援助を受けた。
- ウ 第二代の明命帝は、科挙の廃止、チュノム（字喃）の創製などの改革を行った。
- エ 1884年に保大（バオダイ）帝が退位し、フランスの保護国となった。

設問5 空欄Eにあてはまる語を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問6 空欄Fにあてはまる福建省の地名を次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 澳門 イ 厦門 ウ 泉州 エ 寧波

〔Ⅶ〕 次の文章は、アメリカ合衆国の議会で行われた演説である。この文章を読んで、設問1～5に答えなさい。

私が議会の合同会議に出席するのは今日の世界が深刻な状況に直面しているためである。
 アメリカ合衆国は、A 政府から財政的経済的援助を得たいという差し迫った要請を受け取った。A の国家としての存立そのものが、今日、数千の武装した分子のテロ活動によって脅かされている。これまで A を支援してきた B 政府は、もやは財政的経済的援助を与えることができない。
A の隣国である C もまた、われわれが注意を向けるに値する。独立した、健全な経済をもつ国家として、C の将来は、自由を愛する世界の諸国民にとって、A の将来に劣らず重要である。
 アメリカの外交政策の主要目標の一つは、われわれと他の諸国民が圧政に脅かされることなく生活を営むことのできる状況を創り出すことにある。世界史の現時点において、ほとんど全ての国は二つの生活様式の中から一つを選ばなければならない。

第一の生活様式は、多数者の意思に基づき、自由な諸制度、代議政体、自由な選挙、個人的自由の保障、言論と宗教の自由、そして政治的抑圧からの自由によって特徴づけられている。

第二の生活様式は、多数者を力で強制する少数者の意思に基づいている。それはテロと抑圧、統制された出版と放送、形ばかりの選挙、そして個人の自由を押さえつけることなどによって成り立っている。

もし A が武装した少数者の支配に陥ればその隣国の C に及ぼす影響は直接的で、混乱と無秩序がこの地域全体に広がるであろう。さらにまたヨーロッパの国々にも深刻な影響を与えるであろう。

(出典：歴史学研究会編『世界史史料』、岩波書店、2018年より一部修正・割愛して抜粋)

設問1 この演説が行われた年に起こった出来事の説明として最も適切なものを次のうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ヒトラー率いるドイツの奇襲を受けて劣勢に陥ったソ連は、日本との間に日ソ中立条約を結ぶことで戦局の立て直しをはかった。
 イ ① 多国間の貿易を促進することを目指して、「関税と貿易に関する一般協定」が結ばれた。
 ウ 南アフリカでは、マンデラが大統領に当選し、人種隔離諸法を撤廃することをパン＝アフリカ会議で訴えた。
 エ 朝鮮民主主義人民共和国では、金日成が死亡し、その三男の金正恩が後継者となった。

設問2 空欄Aの国名を次のうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア チェコスロヴァキア イ 中華民国 ウ ② ギリシア エ イスラエル

設問3 空欄Bの国名を次のうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア イギリス イ フランス ウ イラン エ ③ ロシア

設問4 空欄Cの国名を次のうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア モンゴル イ エジプト ウ ポーランド エ ④ トルコ

設問5 この演説を行った国家元首の名前を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

トルーマン

〔Ⅶ〕 次の文章を読み、図A～Dおよび参考図X～Zを見て、設問1～6に答えなさい。

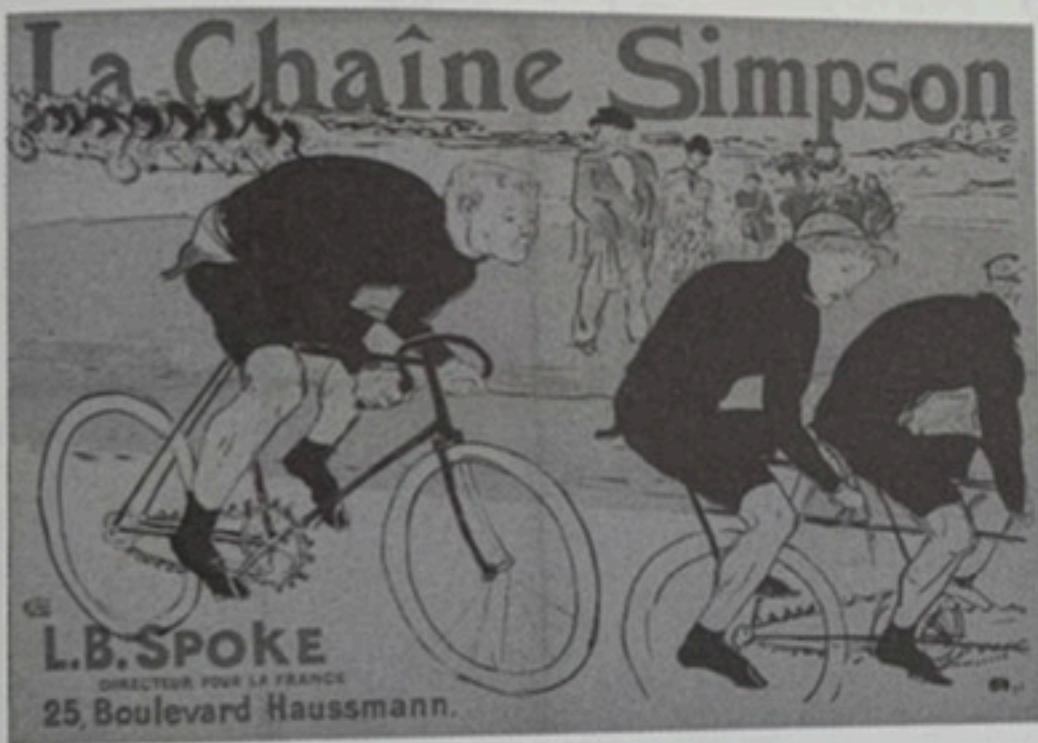
19世紀フランスでは、市民社会の発展にともない、人びとが経済的に豊かになるにつれて、スポーツやレジャーを積極的に楽しむようになった。その様子は、新しい社会を表す主題として絵画においても多く描かれている。



図A 《クローケー》



図B 《ボートを漕ぐ人びと》



図C 《シンプソンのチェーン》



図D 《フットボールをする人びと》

設問1 図Aはクローケーと呼ばれるスポーツに興じる人びとを描いた作品である。クローケーは木槌で玉を打って門の間を通す競技で、19世紀に人気を呼び、1900年パリで開催されたオリンピックでも行われた。画面では、クローケーをする男女が躍動感のあるタッチで描写されているが、女性の一人は、この画家の代表作《草上の昼食》(参考図X)でもモデルを務めていた。これらの絵の作者は誰か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 《草上の昼食》(参考図X)は、官展(サロン)に落選し、1863年、落選者ばかりを集めて開かれた「落選者展」に出展され、なかでもとくに非難を浴びた。この「落選者展」を発案した当時の国家元首は誰か。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ナポレオン1世 イ ナポレオン3世 ウ ティエール エ マクマオン

設問3 図Bでは、ペリソワールと呼ばれる一人用の小舟を漕ぐ人びとが描かれている。作者のカユボットは、自らボートを楽しんだだけでなく、舟の設計や製作も行った。この作品では、舟上の人物がオールをたくみに操り、舟が水面を滑る瞬間の様子がよくとらえられている。新しい美術様式の展開を担ったこの画家の作風は何か。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 印象主義 イ 自然主義 ウ 超現実主義 エ 表現主義

設問4 図Cは、シンプソン社製自転車チェーンの広告ポスターである。このポスターを制作したトゥールーズ＝ロートレックはパリで人気を呼んだ画家で、ここでは自転車自体はあまり細密に描写していないものの、自転車を漕ぐ選手の姿をよくとらえることで、その性能を表わしている。自転車は19世紀末、ダンロップによるゴム製空気入りタイヤの実用化により一段と普及したが、同時代の発明家または科学者と、この頃パリで活躍した芸術家または思想家との組み合わせとして正しいものを、次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | |
|--|---|--------|
| ☒ ラヴォワジエ | — | バルザック |
| ☒ ワット | — | サン＝シモン |
| ☒ ウェル | — | ドビュッシー |
| ☒ アインシュタイン | — | サルトル |

18

設問5 図Dはフットボールをする人びとをアンリ＝ルソーが描いた作品である。ここに描かれた人物たちは、
 a 美術（参考図Y）にみられるような、スポーツをする人の身体のしなやかな動きを理想的にとらえた表現とは異なり、硬直した不自然な動きをみせている。そのため当初認められなかったものの、今日では“素朴派”としてむしろ伝統を逸脱した表現が評価されるようになった。空欄aに当てはまる言葉を次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ギリシア・ローマ イ ロマネスク ウ バロック ☒ エ ロマン主義

設問6 図Dの作者アンリ＝ルソーを最初に認めた画家の一人は、参考図Zを描いたことで知られる。参考図Zの題名は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

ギリシア

参考図



X



Y



Z

〔以下余白〕